

# 2016年度生体情報研究室研究テーマ

## 活性 鍛錬

脳内血行動態および心拍変動を用いた立体映像注視時の生理的影響評価  
単一課題と二重課題でのワークロード評価における生理指標の有用性  
パフォーマンス時における呈示方法の異なる時間的圧迫の生理心理効果  
記憶手法の違いによる記憶定着率の差異  
映像呈示方式の違いによる生理心理作用評価  
能動運動の負荷の違いによる認知判断能力の生理心理差異  
単調作業に対する二重課題の有用性

## 休息 睡眠

疲労緩和手法としての呼吸周期統制の有用性  
個人由来の心拍間隔に基づく音刺激と振動刺激呈示による生体への効果  
精神疲労に対する個人由来の運動強度が異なるアクティブレスト効果  
休息・活性状態における心拍・脳波・呼吸のゆらぎの関係  
パワーナップにおける覚醒手法の違いが作業効率に及ぼす影響  
安静座位手法としての暗室使用の有用性  
心拍情報のローレンツプロット解析による入眠状態の推定  
天然・人工木材の視覚及び触覚刺激時における生理心理の変化